



上 成瀬記念講堂内部 下 高齢者体験授業の様子

きめこまかい設計技術を身につけて  
女性ならではの生活者の視点から建築を学べる

## 日本女子大学 家政学部

■ 住居学科【居住環境デザイン専攻／建築環境デザイン専攻】

鉄骨組立実験の授業。トラスの実物模型を組み立ててしくみを理解する

### 力と構造体の関係 目に見えないイメージを ビジュアル化する

日本女子大では体験型の授業を多く組み込んでいる。なかでも1年生で必修の「力と形」という工夫を凝らしたユニークな授業に注目したい。

建物を設計する上で不可欠な、建物を支えるための構造の理論だが、建物にかかる力は目に見えないので、数式や数値の知識だけではイメージしにくい。そこでこの授業では力の働きを目に見えるようにした。

たとえば住宅の骨組みを表した構造モデルキット（トラス）を使った実験。指でトラスの1カ所を押すと、その影響を受けたパーツが伸びたり縮んだりする変化を目盛で読むことができるのだ。さらにこのキットで既成の構造システムの安定感も検証することができる。

マルチメディアを活用した体験型授業などが好評だ。  
難解な理論をやさしく楽しみながら理解できる工夫がいっぱい。

このようにして実際の住宅が、地震や風雪など外から受ける力の大きさと部材の変形の関係がわかれば、住宅をどのような形や構造にすればいいのかを学ぶことになる。

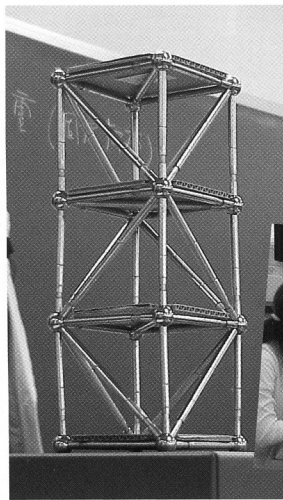
ほかに1枚の紙を使って構造模型を組み立てる回の授業でも学生たちは真剣な表情。力と形のバランスを考えながらできるだけ重いものが載せられる形を考えて作品を作る。その工程の中でワクワクするような興奮と発見がある。

### 豊かな未来につながる キーワードは 環境・生活・デザイン

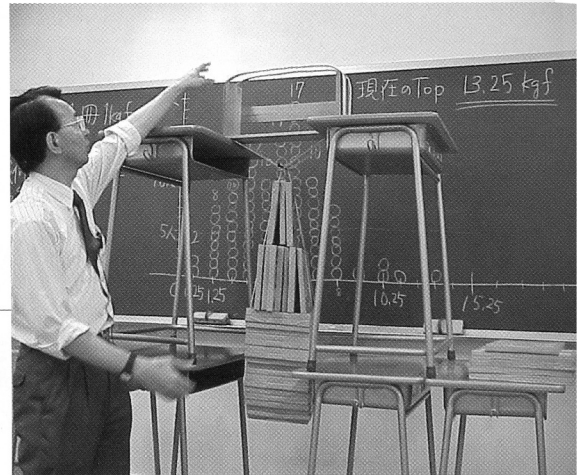
本学の住居学科では、まず、1～2年生前期までは、住居と建築に関する基本知識を修得する。2年生後期からは、「居住環境デザイン専攻」と「建築環境デザイン専攻」に分かれ、より専門に特化した授業を受ける



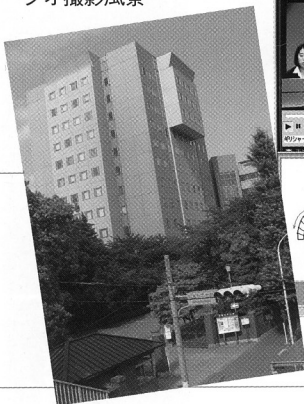
LCCネット配信用のスタジオ撮影風景



左 トラスを組み合わせた荷重による挙動がわかるモデル  
下 ラーメン構造の力と変形の間係を学ぶ



紙の作品の両端を支え、真ん中に重りを吊るし丈夫さを競う



上 日本女子大のホームページからLCCへ  
左 創立100年に建てられたLCCのある百年館

ことになる。

「居住環境デザイン専攻」では  
バリアフリーデザイン論やキッ  
チン計画論など住生活に関わる  
講義から住宅を取り巻く問題に  
ついて理解を深める。

また「建築環境デザイン専攻」  
ではランドスケープデザイン、  
建築材料などの授業を通して、  
材料や設備から広い環境までを  
扱うための実践的な手法を習得  
する。

このように住居学科のきめこ  
まかい学習をちりばめたカリキ  
ュラムが、欧米並みの高い水準  
に達していると判定されたの  
だ。2003年、国際的認定基  
準によって審査するJABEE  
(日本技術者教育認定機構)か  
ら建築系・住居系学科としては  
初の認定を受けた。

**もつとになりたい私になる  
予習復習から資格取得まで  
LCCをフル活用**

さらに2001年に創設の生  
涯学習総合センター(LCC)で  
は、施設スペースを使った公開  
講座や講演会、資格のための講  
座があり、インターネットを通

してビデオ形式で受講できるV  
OD講座も開講している。

年間約120もの講座がある  
から、自分にピッタリのものが  
見つかるはず。一般の人にも解  
放されているが、本学生は有料  
講座を割引で受講できるメリッ  
トがあるので大いに活用しよう。

空き時間を工夫して「2級建  
築士学科アカデミック講座」  
「福祉住環境コーディネーター  
検定対策講座3級」、など在校  
中に就職に有利な資格を取得し  
たり、その準備をするのもオス  
スメだ。

「インターネットで見るVOD  
講座」には講座と同様に実際の  
授業もたくさん組み込まれてい  
る。無料で授業をくり返し見る  
ことができるから、好きな場所  
で好きな時間にいつでも予習復  
習ができ、試験対策にもバッチ  
リ。ダブルスクールとして賢く  
利用したい。

最新の情報ネットワーク設備  
を最大限に利用しつつも、女性  
らしい感性を大切に身近な  
視点を忘れず生活環境を考えて  
いくことは、社会に広く貢献し  
ていくことにつながるだろう。